

大学はいま、グローバル・キャンパスを目指すといわれています。そのための試みのひとつとして、東京大学教養学部では様々な部門が、多様性を体感できる教養教育プログラムを実施しています。本シンポジウムでは国境を越えた大学間の交流体験から相互理解を目指す国際化部門の活動と、社会の様々なリソースを教養教育に取り込み、多様な将来像をえがく社会連携部門の試みの紹介を中心にこれからの大学と国際交流、社会の接点から見た教養教育のあり方を探ります。

教養教育における 社会連携と 国際化

教養教育高度化機構 社会連携部門・国際化部門の回顧と展望

日時◎二〇一五年三月九日【月】

場所◎東京大学駒場キャンパス 21 KOMCEE

地下一階レクチャーホール / MMホール (各階ポスター場)

主催◎東京大学教養教育高度化機構 4問合セ = symposium@komex.c.u-tokyo.ac.jp

◇参加費無料、先着順(定員100名)

☒ プログラム ☒

13:00 — 13:05 ご挨拶

13:05 — 13:15 シンポジウム主旨説明

13:15 — 13:25 社会連携担当理事挨拶

石井 洋二郎 | 教養学部長

松尾 基之 | 教養教育高度化機構長

江川 雅子 | 東京大学社会連携担当理事

第1部 国際化部門の回顧と展望 (司会=刈間文俊・西中村浩)

13:25 — 13:30 国際化部門紹介

13:30 — 13:55 Construct Strategic Partnership through All-around and In-depth Collaborations
: Past, Present and Future Joining-hands between University of Tokyo and Nanjing University

13:55 — 14:15 「教養教育の国際化」が日本語学科とその専門教育にもたらす影響と展望
——南京大学における東京大学「表象文化論」集中講義の導入を例として

14:15 — 14:25 受講者による体験談

14:25 — 14:45 海外フィールドワークにおける社会連携

14:45 — 14:55 受講者による体験談

14:55 — 15:25 休憩

刈間 文俊 | 教養教育高度化機構国際化部門長

濮 励傑 | 南京大学学長補佐
(報告言語=英語)

王 奕紅 | 南京大学外国语学院日本語系副主任
(報告言語=日本語)

西中村 浩 | 教養教育高度化機構教務委員長

第2部 社会連携部門の回顧と展望 (司会=渡邊雄一郎)

15:25 — 15:30 社会連携部門紹介

15:30 — 16:00 東大×博報堂ブランドデザインスタジオについて

16:00 — 16:10 受講者による体験談

16:10 — 16:25 教養教育の社会への発信としての「高校生のための金曜特別講座」
——教養学部教員が高校生に話しかける理由

16:25 — 16:40 大学からの情報発信はどのように評価されているのか
——インターネット配信校から見た「高校生のための金曜特別講座」

16:40 — 16:55 これからの展開について

16:55 — 17:25 外部講演者からの講評・総合討論 (司会=松尾基之)

17:25 — 18:30 懇談会・ポスターセッション

渡邊 雄一郎 | 教養教育高度化機構社会連携部門長

宮澤 正憲 | 株式会社博報堂 / 社会連携部門特任教授

松田 良一 | 教養学部社会連携委員会委員長

石井 裕基 | 香川県立観音寺第一高等学校教諭

刈間 文俊・渡邊 雄一郎